

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームくまた

(ユニット名)

1 F

記入者(管理者)

氏名

渡部 芳香

評価完了日

平成 19 年 8 月 31 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月8日

【評価実施概要】

事業所番号	3871100347		
法人名	有限会社くまた		
事業所名	グループホームくまた		
所在地	松山市土手内5-2-1 (電話) 089-993-0401		
管理者	渡部 芳香		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-1 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年9月12日	評価確定日	平成19年11月8日

【情報提供票より】 (平成19年8月31日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年7月12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 0人, 常勤換算 13.2人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年8月31日現在)			
利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名
要介護3	3 名	要介護4	8 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.6 歳	最低 77 歳	最高 93 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>入居予定者やご家族に事業所の見学や説明、時には体験入居にて事業所をより知っていただけるよう取り組まれている。ご家族やご本人からこれまでの生活歴や希望等をよく聞き取り、入居後もこれまでの生活が途切れないように配慮されている。                  ご家族来訪時の会話の中で利用者のこれまでのことを聞き取り、情報を蓄積しておられる。「自分の意思を伝えにくい人ほど、その背後にある思いや意向を汲み取ることが大事なことだ」と考え、取り組んでおられる。                  市の連絡会に参加され、地域の福祉施設の方達と交流されている。又、事業所で開催された夕涼み会には、地域のグループホームから利用者や職員の方が参加された。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価を職員会議で話し合い、入居時の書類に「利用者の権利」について詳しく記載された。又、職員同士の親睦を図れるよう食事会等を行い、自由に話し合えるような機会を作られた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・全職員で自己評価に取り組み、サービスの向上に努めている。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議時、事業所で開催される夕涼み会についての話し合いがなされた。又、ご家族の提案で意見交換が行われた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族の来訪も多く、その都度相談等をされている。さらに、ご家族の代表も決められ、家族会も活発にされており、ご家族同士でも意見交換をされている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・利用者は、地元の方が多い。ご家族や地域の方の訪問、又、協力も多く得られており、地域で存続出来なくなった夏祭りを事業所で引き受け、地域参加の夕涼み会を開催された。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域との関係をつなげ、その人らしく暮らせるような理念をつくっている。		
			(外部評価)		
			「真心を込めてお世話する」ことを事業所の理念として掲げておられる。		さらに、地域に密着したサービスを提供する事業所を目指し、事業所の理念についてこの機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者と職員は理念を共有し、日々ケアにとりいれている。		
			(外部評価)		
			職員は、親や家族、又、自分自身がこの事業所で過ごしたいかどうかということを常に問いながら、日々ケアに取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			町内の会合、地域の集まりに率先して参加し、近隣住民と話す機会を持つ努力をしたりゴミ捨ての日の周辺の掃除等にも気を配っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物に出かけ、近隣の人と挨拶したり話したりしている。イベントに近所の方をお呼びしたり畑で作った作物等もらい物のおすそわけ等も行っている又、無断外出された方の通報等協力関係もできている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 保育園との芋ほり交流、地元高校への体育祭参加、地方祭や文化祭など町内の会合、地域の集まりやイベントの参加に率先して出かけて交流を深めている。 (外部評価) 利用者は、地元の方が多い。ご家族や地域の方の訪問、又、協力も多く得られており、地域で存続出来なくなった夏祭りを事業所で引き受け、地域参加の夕涼み会を開催された。		今後、さらに、地域の高齢者が気軽に立ち寄れるような場所作りへの取り組みについて検討をされていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会にて区長さんや民生委員さんと話し合いをしている。		地元独居老人の集いの場となるよう提案している。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員で自己評価に取り組み、サービスの向上に努めている。外部評価の結果は職員会にて報告し、具体的改善策を話し合い取り組んでいる。 (外部評価) 前回の評価を職員会議で話し合い、入居時の書類に「利用者の権利」について詳しく記載された。又、職員同士の親睦を図れるよう食事会等を行い、自由に話し合えるような機会を作られた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議にて自己評価、外部評価の結果を報告し、意見交換をはかることにより、サービスの向上に生かしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議時、事業所で開催される夕涼み会についての話し合いがなされた。又、ご家族の提案で意見交換が行われた。</p>		<p>さらに、運営推進会議の内容等をご家族や地域にも、広く伝えていかれてはどうか。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>市主催の調整委員会に参加し、情報交換、勉強会等を通じサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
			(外部評価)		
			<p>市の調整委員会時、ご家族と相談し、ご家族の思いを伝えるようなお話を発表された。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>管理者は成年後見制度の研修に参加し、職員会等で報告している。</p>		<p>職員は充分理解できていない。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>管理者や職員は高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待がみすごされることがないように注意を払い、防止につとめている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時に家族・利用者を交え説明している。医療連携体制等も同意を得るようにしている。疑問点等随時詳しく説明し、理解を得るようにしている。		十分説明できているか又は理解していただけているか疑問なところではある。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 2ヶ月に1回運営推進会等で意見を交換できるような機会を設けたり 個別に意見をきき、利用者本位の運営を心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 随時状況を家族便りやご家族の訪問時に状況をお知らせし、写真やケース記録を見ていただいている。金銭管理は出納帳に記入し、家族にサインをいただいている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、細やかに利用者の日々の様子を伝え、ご家族との信頼関係を深めておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱を設け、投函していただくようにしている。家族会やご家族の訪問時に何でも言ってもらえるような雰囲気作りに取り組み、課題はミーティング等で話し合い質の向上を目指している		
			(外部評価) ご家族の来訪も多く、その都度相談等をされている。さらに、ご家族の代表も決められ、家族会も活発にされており、ご家族同士でも意見交換をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者・管理者自身が現場に入り職員の要望や意見は職員会やユニット会で聞き出したり話し合う場を設け、日頃からコミュニケーションをはかっている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の要望等で必要な時間帯に人員を確保するために職員どうして柔軟に勤務時間を調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者やご家族への信頼関係が保てるよう馴染みの職員が対応している。異動は基本的にはない。		
			(外部評価) 事業所開設以来、職員の異動はなく、利用者、職員、ご家族とも馴染みの関係となっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 段階に応じた研修を受けることをお勧めしている。研修報告書を提出、職員会で報告していただいている。		
			(外部評価) 職員の段階に応じて、外部研修を受講できるようすすめておられる。又、他施設の勉強会に職員は積極的に参加されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			交流のある近くの特養にて月一回の勉強会を行っている。市の連絡会に参加し、情報交換等を行っている。		
			(外部評価)		
			市の連絡会に参加され、地域の福祉施設の方達と交流されている。又、事業所で開催された夕涼み会には、地域のグループホームから利用者や職員の方が参加された。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の悩みやストレスが少しでも軽減できるよう個々の人間関係を把握し話を聞く機会をもてるようお茶会等を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者自身が毎日の業務につき職員と共に向上心を持って働けるよう職能評価を行っている。		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前に面談で生活状態を把握し、本人との関わりによって生活習慣等を聞き出し信頼関係や不安を理解するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の求めているもの、困っている事などを理解し、どのような対応ができるか よく話し合う努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービスの利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 何が必要かを見極め、できる限りの対応に努め、他のサービスの利用の相談にのる努力をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に事業所を見学して頂くことから始め、ご利用になった場合もご家族やそれまで関わってきた関係者にも面会にきてもらうなどして安心感をもってもらうようにしている。 (外部評価) 入居予定者やご家族に事業所の見学や説明、時には体験入居にて事業所をより知っていただけるよう取り組まれている。ご家族やご本人からこれまでの生活歴や希望等をよく聞き取り、入居後もこれまでの生活が途切れないように配慮されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩という考えを共有しており多くの事を利用者から学び、また、そういった場面が持てるよう工夫や声かけに配慮している。 (外部評価) 職員は、利用者を人生の先輩として敬い、言葉や態度に気を配り支援されている。時に職員を孫のように思われる利用者もおられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の思いを細かく伝えることで家族と職員の思いが徐々に重なり、利用者をささえていく為の協力関係が築けることが多くなってきている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族・本人の思いを見極め、行事にもご家族をお誘いしたりより良い関係の継続に努めている。 来訪時には現在の状況等を詳しくお話し、できる限りコミュニケーションをとるよう心がけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 来訪していただいた方や電話のあった方には支援できている。 行きたい場所には近場については行く日を決めて行く事もある。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の助け合いや気持ちの支えあいができるよう日常的に支援を行っている。又、利用者同士の関係がうまくいくよう職員が調整役となって支援している。 入居者によっては露骨に拒否される場合もあるが、不安や支障を生じさせないように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス終了後も関わりを必要とするご家族へは連絡をとっている。		全てのサービス終了者ではない。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々のかかわりあいの中で常に声かけをし、表情や言葉から思いや真意をはっきり確認するようにしている。ご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
			(外部評価)		
			ご家族来訪時の会話の中で利用者のこれまでのことを聞き取り、情報を蓄積しておられる。「自分の意思を伝えにくい人ほど、その背後にある思いや意向を汲み取ることが大事なことだ」と考え、取り組んでおられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者一人一人のこれまでの生活歴や関わりについて折に触れご本人やご家族から聞いている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者のペースが保たれるよう無理強いすることのないよう得意な事をしていただいたり時には小さな事でも挑戦していただくことで現状を把握できるようにしている		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご家族とのかかわりの中で意見を聞き、反映させるようにしている。 職員全員での意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い介護計画の作成に活かしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日々の関わりの中で表情や言葉からご本人の思いや真意を聞き、全職員の意見を採り入れながら計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 情報を確認し、状態が変化した際には期間終了前でも検討見直しを行っている。		
			(外部評価) 定期的な見直しと、状態の変化時には随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 気づきや工夫を個別に記入している。職員全員が共有し、把握している。実践や介護計画に活かされている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族や本人の要望に対し臨機応変に対応している。 入院の回避・早期退院の支援や生活の継続を行っている		
			(外部評価) 利用者が一時的に入院された際、ご家族の要望等もあり、職員が交代で食事支援に通われた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会にて民生委員や地域住民の方とお話する機会を設けている。 消防の方に来て頂き、指導を受けている。 ボランティアに来てくださる方にも積極的に働きかけ、交流をしている。		民生委員・ボランティア・消防・保育園等によく来ていただいている。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて適切に事業所以外のサービスとつなげるよう外部のケアマネジャーと連携をはかっている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会にて支援センターの職員に参加していただき周辺情報や協力関係を築いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望に応じた通院や往診を行っている。 希望時にはご家族にも同行していただいている。  (外部評価) ご本人や、ご家族の希望に応じたかかりつけ医の受診が続けられるように支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 脳神経外科の医師の指示や助言をいただき医療の対応が利用者個々にできるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  看護師を職員として配置し、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  早期退院できるようアプローチしている。頻繁に職員がお見舞いに行くようにし、支援方法に関する情報を医療機関に提供し、家族とも情報交換を密にとっている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  看取りに関する指針は作成しており家族に説明している。  (外部評価)  事業所の看取りに関する指針について、ご家族へ説明がなされている。今後、事業所での看取りを行なう場合は、主治医・看護師・家族・職員との連絡を密にとり、利用者に寄り添った支援を行なっていく準備をされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  本人や家族の意向を踏まえ、医師、看護師、職員が連携を図り、安心して納得した最期を迎えられるよう意志を確認しながら取り組めるよう準備を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  他の事業所に移られた場合、アセスメント・ケアプランや支援状況等を手渡すとともに情報交換を行いきめ細かい連携を心がけている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員会やミーティングの時には職員の意識向上をはかり利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底をはかっている。		
			(外部評価)		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者一人一人が自分で決めたり希望や意見を聞き利用者本人に選択や決定を促す場面を作っている。 食べ物や飲み物等の希望を取り入れたりしている。		
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できる限り利用者のペースが保たれるよう無理強いせず、そのときの体調や気持ちを尊重して個別性のある支援をしている。		
			(外部評価) 利用者の使用されている薬等についても、医師やご家族とも相談しながら調節をし、利用者らしい生活のペースを支援できるよう取り組まれている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせ支援し、行事や外出時には本人の意向で決め、おしゃれをしたり散髪や髪形等も本人の好みにそえるよう心がけ、楽しんでもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好みのもや食べたいものを献立に取り入れ、全員で楽しく食事をし、食器拭きや片付け等も無理強いせず、楽しくできるようにしている。		
			(外部評価) 利用者個々の食べ物の好みを職員は把握し、メニューに採り入れ、楽しく食事ができるよう支援されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 職員は利用者一人一人の好みを理解しているが現在喫煙者、お酒を好まれる方がいらっしやらない。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 時間や習慣を把握し、声かけにてトイレでの排泄を促している。又、パットやオムツを使用している方にも排泄パターンを把握し、時間ごとに声かけや誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日の入浴希望者には要望に答えている。入浴を拒む方には安心できる声かけをし、安心して楽しく入って頂けるよう工夫している。		
			(外部評価)		
			入浴用リフトや浴槽等、利用者が重度化した際でも支援ができるよう設置されている。毎日、希望をうかがい支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促すことにより生活リズムを整えたり寝付けない時には会話や暖かい飲み物を飲んでいただく等配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			得意分野でのお手伝いをお願いし、ねぎらいや感謝の気持ちを伝えることにしている。買い物やドライブ、催し事、年中行事等、気晴らしや楽しめるよう支援している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、テーブルでトランプをされていたり、集まって懐かしい歌を歌っておられる様子、食後の片付けの役割等もうかがえた。畑仕事をされる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理できる方には少額を手元に持っていていただく。家族よりお金を預かっている方も外出時等には自分で払っていただけるよう工夫している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の都合・職員にもよるが、希望があればドライブや買い物に出かけることもある。季節を感じられるよう折々の催し事や行事に参加したり外食や戸外へお弁当を持ってでかけたりしている。		
			(外部評価)		
			近所への外出は、希望に応じてその都度支援されており、遠方への希望には、計画を立て、ご家族の協力を得ながら支援されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人の希望が近いところであればすぐに行けるようにしている。遠くへの外出時には計画を立て、時にはご家族に協力を依頼することで実現にむけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時にはいつでも電話や手紙で連絡がとれるよう支援している。又、プライバシーにも配慮している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間を定めず、ご家族の都合の良い時間帯に來訪していただき、他の利用者に気兼ねなく過ごしていただけるよう居心地よい空間づくりを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修会や勉強会を実施し、職員の共有認識をはかっている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は職員の見守りの方法を徹底し、外出しそうな様子を察知した場合にはさりげなく一緒に付き添っている。  (外部評価)  日中は鍵を掛けず、職員の見守りにより支援されている。職員は、利用者の外出をいち早く察知し、さりげなく付き添い自由に過ごしていただけるよう見守りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  利用者と同じ空間で記録等を行いながらさりげなく全員の状況を把握するよう努めている。夜間は数時間ごとに利用者の様子を確認するとともに起きた時はずぐに対応できるよう居室が見通せる場所で安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  利用者の状況に合わせ、保管管理が必要な物、利用者が使う時に注意が必要な物等に分けて管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ヒヤリハットを記録しその都度職員と事故防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  救急救命、応急手当等の勉強会に参加したりマニュアルを作成し職員が対応できるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  防災士の資格の取得、消防署の協力をえて年二回の避難訓練を行っている。 地域の町・組内にも協力を呼びかけている。  (外部評価)  災害時の緊急マニュアルの整備や連絡網も備えられている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  ご家族に施設の取り組みを説明し、自由で楽しい暮らしができるよう支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  普段の状況を職員は把握しており毎日バイタルチェックを行い体調や些細な表情の変化も見逃さないよう早期発見を心がけ、状況を正確に判断し適切な処置がとれるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時には本人に手渡し、服用できているか確認している。処方の変更や状態変化が見られる場合には看護職員や医療機関との連携をはかっている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便表にて把握し、繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、自然排便できるよう取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、個々に応じた口腔ケアを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分量等、毎日チェック表に記録、職員全員が把握。 残量等も記録することでおおまかに栄養の摂取量を把握している。 (外部評価) 食事や水分量も記録し、把握されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症マニュアルを作成し、予防、うがい、手洗い等実行している。 随時マニュアルに従い行動している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、布巾等は毎日漂白し、清潔を心がけている。冷蔵庫内の定期的な掃除や食材の点検を毎日行うことで残りの鮮度を確認している。買い物は毎日行い、買いためにしないようにしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 明るい雰囲気になるよう入り口には花壇をつくりプランターを置いている。 玄関には花をいけ、季節感を出している。 ベンチを置いて一息つける場所を設けている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者にとって使いやすい配置や居心地の良い空間作りを工夫している。  (外部評価) 台所や居間は清潔に整えられ、季節を感じる装飾の工夫をされていた。ソファ等もゆったりと配置し、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫をされていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールやテラスにテーブル・椅子・ソファ等を置き、一人で過ごしたり仲の良い利用者同士でくつろげるスペースをつくり、居心地のよい空間をつくっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			馴染みの家具や持ち物は持ち込んでいただいている。利用者の居心地のよさに配慮している。		
			(外部評価)		
			家具や写真、人形等の趣味の品等を持ち込まれており、個々の個性がうかがえた。男性の利用者の居室は、シンプルなしつらえの部屋もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			建物内では24時間換気をしている。ホールでは毎食後換気をしており空調使用時には利用者の発汗の様子や冷えすぎ暑すぎなどに注意している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて居住環境を見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人の不安材料を取り除き、状況に合わせて環境整備を行い職員一同で話し合い工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に花を植えたり畑には季節に応じた野菜を育て、楽しみながら活動できるような環境作りをしている。季節を考え日向ぼっこ、夕涼み等できるような配置を工夫している。車椅子の方でも外の空気や景色が見えるようテラスや庭を活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意思表示のわからない利用者、帰りたいという願望のある方がいらっしゃる
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	かかわり合いはできるだけ持つようになっているが業務が多忙であり腰をすえてゆっくりできる時間が不足している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者のペースで食事や生活を送っていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員との信頼関係があり、言いたい事を言え一緒になって笑える環境である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたくないという方もいらっしゃる。身体状態の関係で出られない方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療機関との連携や日々の健康管理に努め転倒や誤燕等安全対策の周知徹底をしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご家族の方より「表情が明るくなった」「安心して預けられる」 利用者の方より「ここにきてよかった」「天国じゃ」の声がきかれる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	よく来訪して下さる方にはできているがめったに顔を出されない場合は築くのが困難である。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者のご家族の来訪はほぼ毎日のようにあるが地域の方は数日に一回くらいである。

項 目	取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	地域の会合やお祭り、町内のゴミ出しの後の清掃等や挨拶、こちらから提案する夕涼み会や芋ほりなどによって徐々に理解者は増えてきている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ①	ホームの中で笑いが絶えない。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	「ここにきて本当によかった」という声がきかれる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	折りに触れ感謝や労いの言葉をかけてくださる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

事業主本人が現場に入り一般職員と共に介護をしているため現場の意見がすぐ反映される。  
 職員同士の関係がよく、何でも話すことができ、利用者にとっても安心して暮らせる。